



2024年4月30日

各位

会社名 SMN株式会社
代表者名 代表取締役社長 原山 直樹
(コード番号：6185 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 鈴木 勝也
(TEL. 03 - 5435 - 7930)

**連結決算上の特別損失(減損損失)の計上、個別決算上の特別損失及び営業外費用の計上
及び業績予想と実績値との差異並びに役員報酬の減額に関するお知らせ**

2023年4月28日に公表しました2024年3月期の連結業績予想数値と本日公表の実績数値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。また、連結決算上の特別損失の計上、個別決算上の特別損失及び営業外費用の計上及び役員報酬の減額を実施することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

なお、当該個別決算上の特別損失及び営業外費用は連結財務諸表においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

記

1. 業績予想と実績値との差異について

2024年3月期連結業績予想数値と実績数値の差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,500	百万円 100	百万円 85	百万円 45	円 銭 3.10
実績値 (B)	9,336	102	95	△1,028	△70.79
増減額 (B-A)	△3,163	2	10	△1,073	—
増減率(%)	△25.3%	2.2%	12.9%	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	11,788	17	△14	△117	△8.30

2. 連結決算上の特別損失（減損損失）の発生及びその内容

中長期戦略の再定義により、デジタルソリューション領域の将来計画を見直したことに伴い、当社グループが保有するのれん等について将来の回収可能額を慎重に検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2024年3月期において減損損失1,124百万円を特別損失として計上することといたしました。

※なお、中長期戦略の詳細につきましては本日開示を予定しております「SMN株式会社2024年3月期通期決算・中長期戦略説明資料」をご参照ください。

3. 差異発生の理由

売上高につきましては、アドテクノロジーにおいて下半期にGoogleテスト受託売上やソニーグループへの営業強化によりリカバリーをおこない減収幅縮小したものの、デジタルソリューションにおける株式会社ASAの海外事業の拡大遅れや、マーケティングソリューションにおけるASP領域の競争激化の影響等があり、当初予想を下回ることとなりました。

利益面におきましては、アドテクノロジーの増益や構造改革による収益力回復により、営業利益、経常利益は前回発表予想数値を上回ることとなりました。

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の特別損失（減損損失）の発生により、前回発表予想数値を下回ることとなりました。

4. 個別決算上の特別損失及び営業外費用の計上について

前述の特別損失（減損損失）に合わせ、子会社株式の価値を見直し、子会社株式評価損1,527百万円を特別損失として計上するとともに、連結子会社に対する貸付金に係る貸倒引当金繰入額55百万円を営業外費用に計上いたしました。

5. 役員報酬の減額について

上記業績予想と実績値との差異の内容等を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり、取締役の報酬の減額を決定（監査等委員である取締役の報酬に関しては、監査等委員全員の同意により決定）いたしました。

(1) 役員報酬の減額の内容

役位	役員報酬（固定報酬部分）の減額の内容
代表取締役会長	報酬月額20%を減額
代表取締役社長	報酬月額10%を減額
社外取締役	報酬月額10%を減額
社外取締役（監査等委員）	報酬月額10%を減額

(2) 対象期間

2024年5月から2カ月間

以上